

名古屋市における 認知症地域支援推進員の取り組み



社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
名古屋市認知症相談支援センター
認知症地域支援推進員 山本 文香

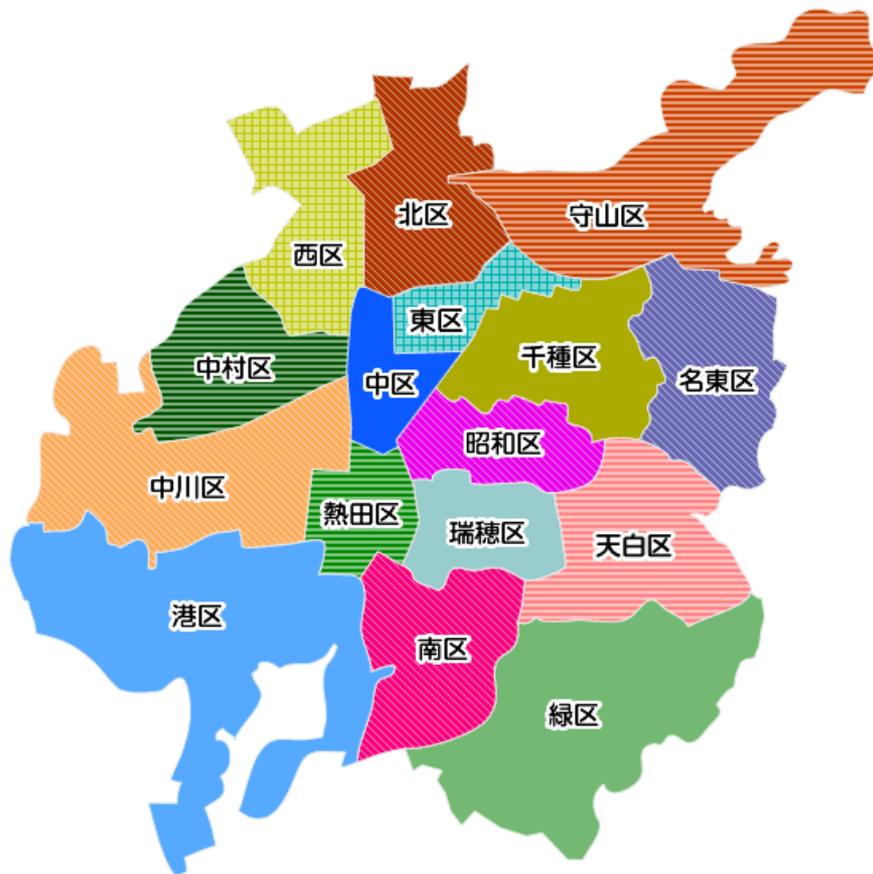
☎ (052) 919-6622

✉ n-renkei@samba.ocn.ne.jp

名古屋市のご紹介



名古屋市の概況



🐇 **人口** 230万3,070人
うち65歳以上55万8,441人

🐇 **高齢化率** 24.7%

🐇 **認知症者数** 56,695人
(平成29年4月時点)

🐇 **面積** 326.45m²

🐇 **行政区** 16区

🐇 **日常生活圏域** 16圏域

🐇 **包括数** 29カ所 (各区1~2カ所)

※名古屋市では、地域包括支援センターを「いきいき支援センター」と呼んでいます。

名古屋市の特徴

- 🦌 愛知県西部（尾張地方）に位置する政令指定都市。
- 🦌 製造業、サービス業、先端技術、観光、貿易など各種産業が集中している。
- 🦌 16ある行政区は、人口が約6～24万人とその規模は様々。
- 🦌 高齢化率は、市全体で約24%だが、区別では約21%～約29%と、人口構成に大きくちがいがあある。
- 🦌 区や学区によって地域性が異なる。
 - 例) ・集合住宅が多く、人の入れ替わりが激しい地域
 - ・昔からの住宅街で住民同士のつながりが強い地域
 - ・新興住宅地で若い人が多い地域 など様々
- 🦌 各区の地域包括支援センターのほかに、「**名古屋市認知症相談支援センター**」が設置されており、認知症施策に取り組む中核的な機関として位置づけられている。

名古屋市認知症相談支援センターの体制及び支援機能

地域の身近な相談・支援機関

いきいき支援センター

認知症疾患医療センター

その他の関係機関

バックアップ・連携

認知症相談支援センター

1

地域での認知症支援体制
(ネットワーク構築・連携強化)

2

認知症の普及・啓発
(認知症コールセンター運営、
情報発信、調査研究)

3

医療と介護の連携体制

4

若年性認知症相談支援

所長 (兼務)	
副所長	1名
地域支援推進員	1名
コールセンター管理者	1名
若年性認知症相談支援担当	1名
コールセンター相談員	5名
事務	1名

名古屋市の認知症施策



「認知症の人やその家族が安心して暮らせるまち・なごや」を目指して

目標① 認知症の人や家族にやさしいまちづくり

目標② 認知症の早期診断・早期対応の支援体制づくり

- できるだけ早期から関わり、本人と家族、友人、支援者が「私のこと」について話し合い、その内容を引き継いでいく。
- 「備え型」の支援を行うとともに、住み慣れた地域で本人のもつ力を最大限に活かし、継続性のある暮らしを支える。
- 認知症の人を支えていくうえで、その人らしい生活を支えることと心身を支えていくことの統合させたケアを提供する。
- 医療と介護等がお互いの役割や機能を理解し、目標を共有する。
- 早期から終末期までの継続的な関わりや支援を行う。

名古屋市における認知症に関する取り組み

医療・介護サービスの提供

- 認知症サポート医養成研修
- かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 医療機関の認知症対応力向上事業

- 認知症初期集中支援チーム（29チーム）
- 若年性認知症相談支援事業
- 認知症の予防

- 介護サービス事業の充実
 - ・認知症対応型共同生活介護事業所
 - ・小規模多機能型居宅介護事業所等
- 認知症介護研修

○認知症疾患医療センター

なごや認知症安心安全プロジェクト
(市医師会)

大学病院
総合病院
精神科病院

認知症サポート医
もの忘れ相談医



認知症の人
とその家族

介護者支援の充実

- 認知症高齢者を介護する家族支援事業
 - ・家族教室、家族サロン
 - ・医師の専門相談
- 認知症コールセンター
- ★認知症ケアパスの作成・普及
- ★なごや認知症カフェ

権利擁護の充実

- 成年後見あんしんセンター
- 権利擁護センター

地域で支える仕組みづくり

- ★認知症地域ネットワーク
(地域包括ケア推進会議認知症専門部会)
- ★認知症相談支援センター
- 認知症サポーターの養成と活動の場の充実

- ★認知症地域支援推進員
- はいかい高齢者おかえり支援事業
- 認知症普及啓発推進事業

区役所・保健所

いきいき支援センター

民生委員

認知症の人と家族の会

NPO

社協

など

地域包括ケア推進会議 認知症専門部会



介護従事者

ケアマネジャー、サービス事業所
福祉施設など



介護者家族



いきいき支援センター



医師・医療関係者

医師、歯科医師、薬剤師、認知症疾患
医療センターなど



区役所・保健所



民生委員



認知症サポーター



町内会長

- 区ごとに組織。
- 多職種連携・協議の場。
- 区の取り組みを検討・実施。
- 区の認知症施策の中核的な位置づけ。

名古屋市における推進員の役割と体制



推進員に求められる役割

■ 認知症の方を支援する関係者の連携を図るための事業

認知症専門部会の運営

地域におけるネットワーク体制の構築

認知症疾患医療センターとの連携・調整

区版認知症ケアパスの作成・普及等



■ 認知症の方や家族を支援する事業

認知症高齢者を介護する家族支援事業の運営

認知症カフェの運営支援

認知症の方とその家族を支える地域資源の把握

認知症サポーターの活動支援

認知症の方（若年性認知症を含む）への相談支援等



推進員の体制

全31名で
がんばっています！



認知症相談支援センター

2名（専任）

【役割】

- ◆ 各区の推進員の活動支援
- ◆ 推進員連絡会・研修等の開催
- ◆ 市域における関係機関とのネットワークづくり など

市全体をみて、各区の実践を
後方支援する

各区いきいき支援センター

1名ずつ 計29名（兼務）

【役割】

- ◆ 区の課題や実情に応じた取り組み
- ◆ 区域における関係機関とのネットワークづくり
- ◆ 区の社会資源開発 など

地域に密着して、各区で具
体的な実践を行う

連携・サポート

市内の推進員同士のネットワークづくり

月	回	内容	テーマ
4	第1回	研修会	認知症地域支援推進員の役割とケアパスの取り組み
	第1回	連絡会	①推進員等の顔合わせ ②今年度の取り組みに関する意見交換
6	第2回	研修会	認知症カフェの取り組みと認知症カフェ開設助成事業の説明
	第2回	連絡会	①認知症に関する差別情報整理シートの共有 ②ケアパスの進捗状況の共有
8	第3回	連絡会	①ケアパスの今後のスケジュール・検討内容の情報交換 ②認知症カフェ開設助成事業・登録事業の申請状況について
10	第4回	連絡会	認知症介護指導者との交流会 地域ごとにグループに分かれ、認知症地域支援に関する意見交換
11	第5回	連絡会	認知症疾患医療センターとの交流会 事例検討を通してお互いの役割と連携方法を知る
12	第6回	連絡会	①認知症カフェの運営支援における推進員の役割について 認知症カフェの実践報告 ②ケアパスの進捗状況等の情報交換
1	第3回	研修会	キャラバンメイトとの交流会
2	第7回	連絡会	振り返りと来年度の取り組みについて



活動報告

～認知症ケアパスを基盤とした地域づくり～



取り組みのきっかけ

■名古屋市における認知症に関する課題

- 家族等がない場合、病気が進行し、深刻化
- 出会いのポイントが遅くなると、本人の情報が少なくなり、目先の困りごとの対処になってしまう
- 周囲や家族の判断や都合が優先され、本人不在のまま決められてしまう
- もの盗られ妄想等で家族は初期から追いつめられてしまう
- 家族支援が十分でない
- 認知症に対するマイナスのイメージ
- いつ、どこに相談したらいいのか分からない
- 在宅での介護のイメージができていない、介護保険を知らない
- 認知症への対応力のある事業所の情報が分からない
- 早期から終末期まで一貫して情報をもち、伴走する専門職がない

認知症ケアパスにおける目標

- ① 本人・家族、地域住民、そして専門職等の支援者が「認知症の容態に応じた適時・適切な医療と介護等の提供の流れ」を話し合いながら共有し、不足する社会資源を開発・補強すること。
- ② 本人・家族等が、社会資源にたどり着きやすく、使いやすくなるための「しくみ」や「専門職間のルール」について検討することやそのための協議の場をつくること。

認知症ケアパスの検討

■スケジュール

平成26年度

千種区で先行して認知症ケアパスを作成

「認知症の容態に応じた適時・適切な支援の流れ」
の名古屋市版を検討・作成する。

平成27年度

全区で認知症ケアパスを作成

名古屋市版をベースに、区独自の情報を盛り込み、
身近な資源にたどり着きやすくするためのツール等
を作成する。

平成28年度

完成した認知症ケアパスの普及・活用

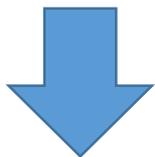
平成29年度

情報追加・更新等

認知症ケアパスの検討・作成

■平成26年度 千種区でモデル的に作成

- 医療・介護関係者、家族、行政、いきいき支援センターなどで「名古屋市認知症ケアパス検討委員会」を組織。
- 統計情報やヒアリング等をもとに、本人や家族への支援の現状を把握する。
- それぞれの経験・視点を生かし、議論を重ねる。



- 家族支援の視点を重視したい。
- 早い段階からいきいき支援センターが関わるのが重要。
- 「気づき」の視点を盛り込むことで、早期発見につなげたい。
- 「本人の思い」をきちんと引き継ぎ、その時々をサポートに活かせるようなケアパスにしたい。

認知症の進行に合わせた「家族の心がまえ」や「ケアのポイント」

この表は、アルツハイマー型認知症の進行と主な症状をもとに作成しています。認知症の原因となる疾患や身体の状況などにより経過は異なりませんが、今後を見直す参考にしてください。家族や両方の方が、認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切になります。

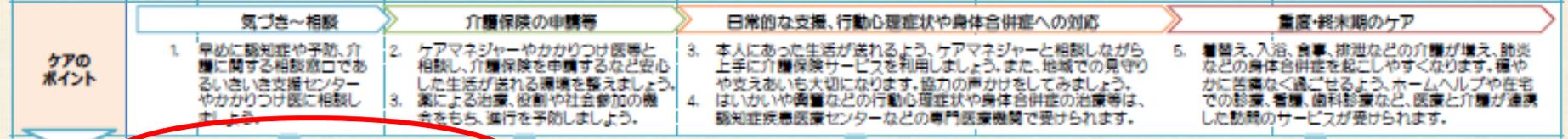
認知症の進行	健康	認知症の疑い	ひとりて生活ができる	見守りが必要	手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (こんなことはありませんか(例))	-	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れが気になる お金の管理や買い物、書類の作成などはおひとりてできる 	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れにより生活しづらさがある 日付や時間がわからなくなる 買い物やお金の管理にミスが見られる 日常生活はなんとか行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物やお金の管理ができない 貯蓄管理ができない 電話の応対や訪問者の対応が困難 適に迷うことがある 	以下のことに手助け・介護が必要になる <ul style="list-style-type: none"> 着替え・入浴・食事・排泄 整容(洗面・歯みがき・化粧) 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子・ベッドでの生活が中心になる 食事をとることが困難になる 言葉による意思表示・理解が困難になる

家族の気持ち(例)

- 不安定、年齢のせい、言えはできるはず
- 混乱、認知症状に振り回されてしまう、自分だけがなぜ、拒絶、介護の疲れ
- 割り切り、受容、どう看取るのか

家族の心がまえ

- 早めにいきいき支援センターに相談しましょう。
 認知症や介護について学ぶ機会を持ちましょう。
- 腰が立ってあたりまえ、ひとりて覚え込まないで、介護仲間をつくりましょう。交流会や電話相談がありますので、情報を得る機会をつくりましょう。
 どのような医療や介護のサービスがあるかを知って、早めに介護サービスを利用して、がんばりすぎない介護をこころがけましょう。
 認知症を隠さないで身近な人には伝えて理解者や協力者をつくりましょう。
- 介護者があつての介護です。まずは自分のことや健康を大切にしましょう。
 今後のことについて検討し、必要に応じて、施設の情報収集などは早いうちに行っておきましょう。
 終末期のケアについて、早い段階で医師やケアマネジャー等と相談し、どういった対応が必要か確認しておきましょう。



本人・家族を支援する主な制度やサービス等	相談窓口	いきいき支援センター(認知症初期集中支援チーム)	ケアマネジャー		
家族支援		認知症の人と家族の会	家族支援事業、認知症カフェ		
介護福祉		ホームヘルプ などの訪問サービス	デイサービス などの通所サービス	ショートステイ などの短期宿泊サービス	「通い」を中心に、「訪問やお泊り」を組み合わせて提供する「小規模多機能型居宅介護」もあります。
医療	かかりつけ医	認知症サポート医	認知症疾患医療センター などの専門医療機関	訪問看護サービス	【訪問診療】
		歯科医師・歯科衛生士	薬剤師		【訪問歯科診療】
生活支援		地域での見守りや支えあい活動、民生委員、認知症サポーター	生活支援サービス、社会福祉協議会、日常生活自立支援事業、成年後見制度		
予防		介護予防教室、趣味や特技を活かせる場、市民講座	地域での交流の場		
住まい	自宅	福祉用具・住宅改修	サービス付き高齢者向け住宅など	グループホーム	特別養護老人ホーム

※主な制度やサービス等の内容については裏面をご覧ください。

あれ？

認知症かなあと思ったら…

～気づきのポイントと早期発見・早期対応のメリット～

気づきのポイント～こんなことはありませんか？～

- 同じことを言ったり聞いたりする。
- 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた。
- レジでお札ばかりで支払うようになった。
- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 趣味をやめたり、興味を示さなくなった。
- 幻覚を見る。



「あれ、認知症かなあ」と思ったり、気づきのポイントで気になることがあれば、いきいき支援センターやかかりつけ医に相談しましょう。

いきいき支援センターは、身近な認知症のなんでも相談窓口です。

早期発見・早期対応にはメリットがあります！

- 早期に診断され、治療を受けることで、治る病気があったり、進行を遅らせることができると言われてます。
- 早くから適切な治療やケアがあることで、生活上の困りごとやトラブルを少なくすることもできます。
- 介護するご家族も、認知症や介護について正しい知識を身につけたり、仲間を見つけたりする時間をもつことができるようになります。



認知症は放っておくと、日常生活のなかで不安や困りごとが増えたり、生活のしづらさがあらわれやすくなります。早期発見・早期対応が大切です。

85歳以上では、4割を超える方に認知症の症状があると言われており、認知症は特別な病気ではありません。

ご家族やいきいき支援センターと、今後のことについてお話しするときに、様式①「わたしのこと」をご活用ください。

受診するときに、事前に症状等をメモしておくといでしょう。様式②「受診にあたってのメモ」をご活用ください。

65歳未満の方の認知症についても、いきいき支援センターや認知症相談支援センターにご相談ください。※ハンドブック「なごやの手帳」もあります。



いきいき支援センターなどの「あなたの身近な相談窓口」の連絡先は裏面をご覧ください。利用が考えられる制度やサービスなどは別紙の「認知症の人や家族を支援する主な制度やサービス」をご覧ください。



様式①

「わたしのこと」

今後、ご自分の気持ちやこれまでのことをうまく伝えることが難しくなるかもしれません。これからの生活をどのように送りたいかなどをご家族等とお話しする機会をつくりましょう。

★ わたしにとって…

なじみの場所は、

行きたい場所は、

会いたい人は、

一番頼りにしている人は、

支えたい人は、

★ わたしの好きな(嫌いな)こと

好きな(嫌いな)ことや話は、

わたしがしてきた仕事や得意なことは、

毎日の習慣になっていることは、

大切な思い出は、

好きな(嫌いな)食べ物、

好きな曲(音楽)は、

お名前:

記入日: 年 月 日

わたし

日ごろ、関わりのある人(ご家族やかかりつけ医など)を書いてみましょう。

★ わたしの今の気持ち

うれしいこと、楽しいことは、

不安や悲しみ、苦しいことは、

やりたいことは、

介護への願い、要望は、

医療への願い、要望は、

人生のターミナルでの願いや要望は、

延命の措置を望みますか? はい・いいえ

どこで過ごしたいですか? ・自宅・施設・病院

その他、伝えたいことは、

(認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式より抜粋)

認知症ケアパスの検討・作成

■平成27年度 各区版認知症ケアパスの作成

- 各区の認知症専門部会、ワーキングチームで検討する。
- 区独自の資源や取り組みなどを情報収集し、認知症ケアパスと併せて情報発信する。
- 平成26年度に作成した市版認知症ケアパスが各区で効果的に機能することを目指す。



認知症ケアパスの検討・作成

■各区の推進員の具体的な動き

- 認知症の方を介護する家族や、認知症サポーター、認知症介護指導者、地域密着型の事業所などに声をかけ、ワーキングチームに参加してもらう。
- ワーキングチームのとりまとめ、進行を務める。



- 地域の情報を収集し、地域の強み・弱みを洗い出す！
- これまで取り組んできた認知症に関する事業について、今一度ふりかえり、目標を明確化する。

【取り組みの状況】(予定も含む) ※認知症専門部会で行う活動には、活動名の前に【専】と記載。			
	活動名	開催頻度・日時	
い き を 支 援 セ ン タ ー の お き か え	専 家 族 支 援 事 業	家族支援事業	月1回
	専 家 族 支 援 事 業	認知症サポーター養成講座	随時
	専 家 族 支 援 事 業	認知症カフェ	
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
	専 家 族 支 援 事 業		
専 家 族 支 援 事 業			

「認知症に関する差別情報整理シート」を作成しました。

福祉の

お役立ち情報

活用方法

この冊子は、中区を中心とした高齢者の健康・福祉・介護などにおけるさまざまな情報を示してあります。「認知症ケアパス」と共にご活用していただけます。

中区版

区の社会資源をまとめ、
情報発信！

気軽に参加できる集いの場などを紹介

前津福祉会館が実施する事業

名古屋市内にお住まいの60歳以上の方が、いきいきとしたシニアライフを楽しむための施設です。

事業名	実施場所	開催	対象
(A)趣味講座	前津福祉会館 (大須4-15-15) 地下鉄上前津駅 1番出口下車 東へ 130m徒歩5分	4月開講講座 募集:2月 10月開講講座 募集:8月	名古屋市内 在住の60歳 以上の方
(B)各種同好会会館の部屋を借りて各種同好会が活動しています。会員募集中の同好会もあります。		団体ごとに設定	
(C)その他自由参加講座・月替わり体験・健康講話・世代間交流事業など		毎月	
演奏大会・作品展		10-11月	
健康相談(中区医師会医師による)		第2-4(木) 14:00~	

問い合わせは「前津福祉会館」へ 電話番号 262-1869

はつらつクラブ(高齢者はつらつ長寿推進事業)

市内在住の65歳以上の方を対象で、健康増進活動などを通じて介護予防や仲間づくり、地域活動への参加促進を目指します。

	午前	午後
月曜日	鶴舞荘集会所 (中区千代田二丁目14-5 市営鶴舞荘2棟1階) 10:00~12:00	大須コミュニティセンター (中区大須3-38-9 大須商店街組合会館ビル5階) 13:30~15:30
火曜日	新栄会館 (中区新栄1-13-7) 10:00~12:00	ヨナワールド3階 ホール (中区栄五丁目21-9) 14:00~16:00
水曜日	名城小学校プレイルーム (中区丸の内3-3-35) 10:00~12:00	
木曜日	講堂館 (中区大井町5-6 沢の井児童遊園内) 10:00~12:00	むつみグリーンハウス2階 食堂 (中区古渡町9-18) 14:00~16:00
金曜日	千早コミュニティセンター (中区新栄1-48-19) 10:00~12:00	

問い合わせは「中区社会福祉協議会」へ
電話番号 331-9951



ふれあい・いきいきサロン

身近な会場に集まってお茶を飲んだり、おしゃべり・ゲーム・手芸・運動を楽しみながら過ごす場(たまり場)です。



学区	サロン名	日時・会場	参加費	内容
栄	ぼっかぼか	第1-3木曜日 10:00~12:00 中スポーツセンター(中区栄1-30-10)	200円	運動・劇トレ おしゃべり・お茶
新栄	新栄サロン	第3木曜日 10:00~12:00 新栄会館(中区新栄1-13-7)	200円	クラフト・歌・お茶 おしゃべり
新栄	ふれあい おしゃべり喫茶	第4日曜日 9:00~12:00 新栄会館(中区新栄1-13-7)	100円	お茶・麻雀・将棋 カオケ・ゲーム・体操
新栄	つくもカフェ	毎週月・木 13:30~15:00 ユートピアつくも(中区新栄3-32-17)	無料 参加費 100円	お茶・おしゃべり
千早	サロン千早	第2-4火曜日 13:30~15:30 千早コミュニティセンター(中区新栄1-48-19)	200円	クラフト・てがみ会 ゲーム・お茶・おしゃべり
大須	西別院 囲碁サロン	毎月28日 10:00~12:00 西別院本堂内(中区門前町1-23)	100円	囲碁・お茶 おしゃべり
大須	大須サロン	第1-3月曜日 10:00~12:00 大須コミュニティセンター (中区大須3-38-9 大須商店街組合会館ビル)	100円	クラフト・ゲーム・お出かけ おしゃべり
大須	よりみちサロン	第4土曜日 10:30~12:00 中区障害者基幹相談支援センター (中区大須4-10-85)	50円	クラフト・ゲーム・お茶・お菓子 づくり・おしゃべり
千早	wise	第4水曜日 13:30~15:30 につぎスタジアム(中区千代田5-14-10 豊前ビル)	100円	いろいろな講座・お茶 おしゃべり
老松	食べよう会	第1-3水曜日 12:30~14:00 個人宅	実費	みんなで食事などを 作り食べながらお話し
老松	老松サロン	第1-3水曜日 10:00~12:00 老松学区集会所(中区千代田3-17-17)	150円	クラフト・ゲーム・お出かけ お茶・おしゃべり
老松	サロン・ド・ さくらん	第1-3月曜日 13:30~15:00 さくらん生活館(中区千代田3-21-14)	200円	簡単ヨガ・お茶 おしゃべり
老松	打歌団	第3-水曜日 13:30~15:00 市営鶴舞荘集会所(中区千代田2-14-5)	500円	歌・読み聞かせ お茶・おしゃべり
松原	はつらつ 麻雀サロン	毎週火・木曜日 10:00~12:00 麻雀クラブ ダブラス70(中区松原3-1-2)	100円	健康麻雀・お茶 おしゃべり
松原	松原サロン	第1-3月曜日 10:00~12:00 松原学区センター(中区松原2-22-24)	200円	クラフト・ゲーム・お出かけ お茶・おしゃべり

あったが熱田区 つながり手帳



氏名	男
氏名	女
受けとり 場 所	年月日 平成 年 月 日

熱田区認知症ケアパス

本人・家族・医療・介護などの連携ツールの作成

熱田区いきいき支援センター	さん
☎ ()	
事業対象者	H . . . ~ H . . .
介護認定	なし・申請中
	要支援() 要介護() H . . . ~ H . . .
	要支援() 要介護() H . . . ~ H . . .
障害者手帳	身体()級・愛護()度・精神()級
はいかい高齢者おかえり支援事業への登録	あり・なし
●● 家族や生活環境のこと ●● (記入できる範囲でお願いします)	
出身地	
兄弟姉妹	()人きょうだいの()番目
配偶者	あり・なし
子ども	なし・息子()人・娘()人
世帯状況	独居・同居
	同居者
民生委員	さん

大切な人たち	
交流	さんと()日に()回程度
	さんと()日に()回程度
	さんと()日に()回程度
家族・友人・知人など	氏名
	さん
	関係: ☎ ()
	氏名
	さん
	関係: ☎ ()
	氏名
	さん
関係: ☎ ()	
氏名	
さん	
関係: ☎ ()	
氏名	
さん	
関係: ☎ ()	

認知症ケアパスの普及・活用

■平成28年度

- 区役所、保健所、いきいき支援センター、医師会、薬剤師会、歯科医師会、ケアマネジャー、民生委員、福祉施設等へ周知・配布。相談対応時に活用してもらう。
- サロンなど、地域の集まりで配布し、啓発。
- 認知症サポーター養成講座の際に、説明・配布。 など

認知症ケアパスのPRちらしや活用マニュアルを配布した区も

天白区版認知症ケアパス配布窓口
天白区版認知症ケアパスは下記の相談窓口で配布・説明を受けることができます。(平成28年10月1日現在)
行政機関・いきいき支援センター

天白区版認知症ケア普及会議 認知症専門部会
天白区在住の皆様へ
平成28年6月
天白区版認知症ケアパス
配布はじめました。

「自分が認知症になったらどうしよう。」
「家族が認知症になった、これから先どうしたらいいのだろう。」
「認知症になると将来どうなってしまうのだろう。」
「認知症に関して、天白区ではどのような取り組みをしているのだろうか。」
そんな天白区民の皆様の悩みや不安を解消するため、**天白区版認知症ケアパス**の配布を平成28年6月に開始しました。
暮らしに役立つ天白区内各所の配布窓口にて説明を聞きながら受け取ることができます。知識を得たい方、悩みがある方、どうぞお気軽に各窓口の配布窓口で相談しながら「天白区版認知症ケアパス」をお受けください。

「天白区版認知症ケアパス」は、裏面に書いておくと、配布窓口で説明とともにもらえます。

ソーシャルワーカーのいる機関等

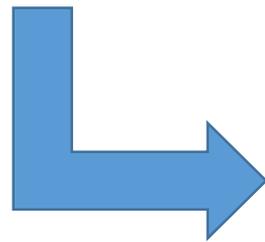
- ◎社会福祉協議会
- ◎若年福祉
- ◎天白区民生児童委員協議会
- ◎特別養護老人ホームおよび老人保健施設
- ◎特別養護老人ホーム 緑松荘
- ◎特別養護老人ホーム 平野町
- ◎特別養護老人ホーム 八事南
- ◎特別養護老人ホーム 第二八事南
- ◎地域包括型特別養護老人ホーム Oらびのみ
- ◎地域包括型特別養護老人ホーム 八事南の杜
- ◎特別養護老人ホーム ケアパス東原
- ◎老人保健施設 サツキアザ
- ◎老人保健施設 しだろ
- ◎天白老人保健施設
- ◎介護老人保健施設 メディオ平針
- ◎介護老人保健施設 リハビリの森

問合せ
天白区版認知症ケア普及会議 認知症専門部会
天白区役所、いきいき支援センター
天白区民会館、いきいき支援センター
電話：(052)839-3663 FAX：(052)839-3665
電話：(052)839-3663 FAX：(052)808-5551

認知症ケアパスの効果

- 認知症ケアパスの検討や配布を通じて、関係機関とのネットワークを構築できた。
- 家族から「先のことが見通せるので不安が軽減された」という声があった。
- 地域の強み・弱み・今ある資源・まだない資源などを把握し、認知症ケアパスの流れに沿って整理することができた。
- 不足している資源の補強のため、新たな活動につながった。

例) 認知症の初期段階に出かけられる場が地域に少ない
小中学生など、若い世代への認知症啓発が十分でない
地元の商店や銀行など、認知症の方の地域での生活に関わる方々に、
もっと認知症のことを知ってほしい など



**特に初期段階の課題が
多いことがわかった**

認知症ケアパスを基盤とした取り組み例

初期を重視した取り組みの検討・実施

「認知症にやさしい店」を増やす取り組み

小中学生など若い世代へ認知症の啓発の強化

なごや認知症カフェの開設・運営支援

気づき

軽度

中度

重度

終末期

特に地域が果たす役割が大きい時期！

認知症カフェにおける認知症サポーターの活躍の場づくり

キャラバンメイト交流会

認知症専門部会に認知症当事者が参画

取り組みを進めるうえでのネットワーク構築、仲間づくり

キャラバンメイト交流会の開催



市域で

区域で



なごや認知症カフェの開設・運営支援

■なごや認知症カフェとは

- 市に登録した認知症カフェを「なごや認知症カフェ」と呼ぶ。
- 認知症のご本人・ご家族、地域住民、専門職、誰もが気軽に集い、情報交換や仲間づくりができる場として開催。
- 主に介護事業所、医療機関、ボランティアなどが実施。
- 市内141カ所（7月末時点）開設。



小規模多機能ホームにおけるカフェ



病院のロビーで行われるカフェ

なごや認知症カフェの開設・運営支援

■市域で



開設者向け研修の開催
先進事例の実践報告から
学ぶ。

運営者交流会の開催
武地先生からのお話と、
グループ交流。



なごや認知症カフェの開設・運営支援

■ 区域で



認知症カフェ連絡会の開催



連絡会のメンバーと企画し、PRイベントの開催



認知症カフェマップの作成



認知症カフェと認知症サポーターの交流会



カフェ開設へ向けた相談支援・働きかけ

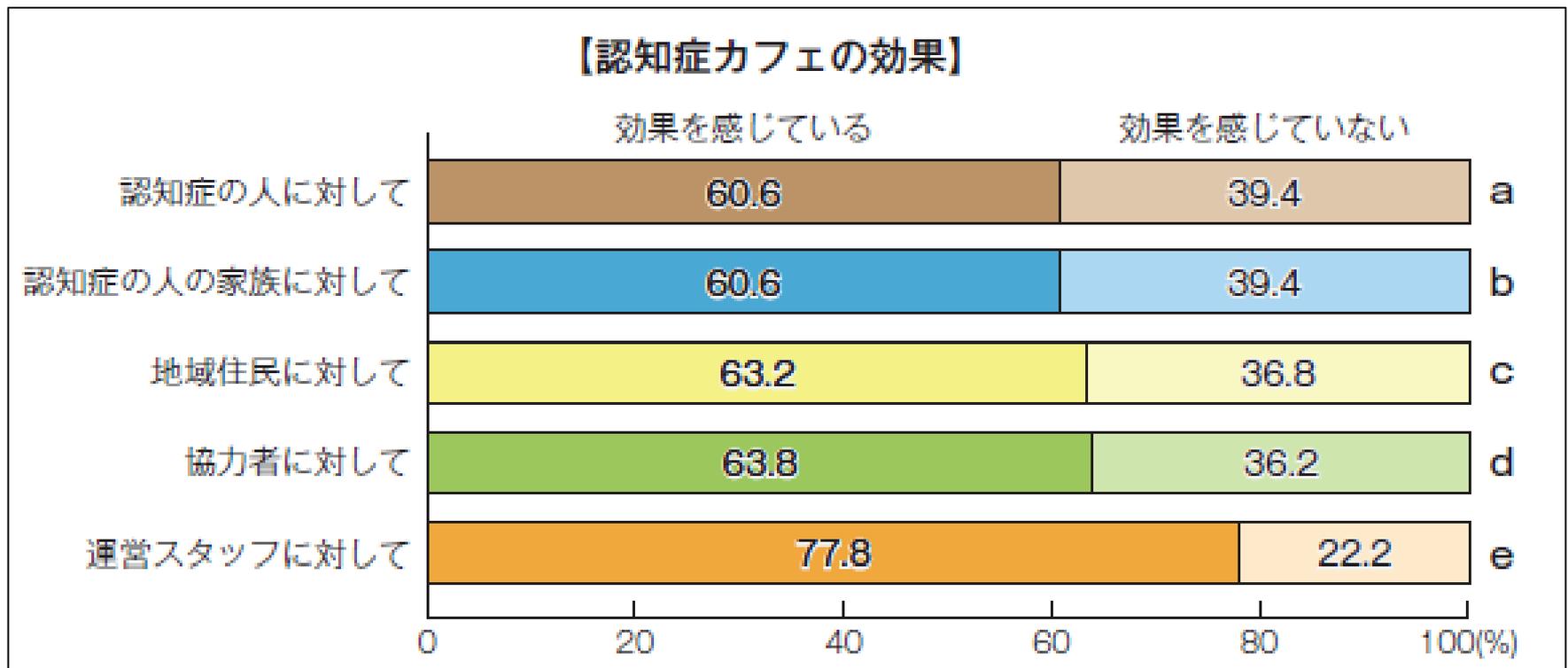
実際にカフェでの活動を始めた認知症サポーターもいます！

認知症サポーターの仲間でカフェを立ち上げました！

なごや認知症カフェの開設・運営支援

■ 『なごや認知症カフェの在り方に関する調査研究』 結果から

- 「なごや認知症カフェ」の実態調査のため、カフェ運営者へアンケート調査を実施。（愛知淑徳大学 金治助教と協同研究）
- 平成28年6月時点で開設しているカフェ86カ所中、76カ所（88.4%）から回答。



なごや認知症カフェの開設・運営支援

■ 『なごや認知症カフェの在り方に関する調査研究』 結果から

< 認知症の人への効果 >

- カフェに参加中は表情がいきいきとされ、「楽しかった」と帰る時に言われる。（北区）
- 「カフェに定期的に通うことで本人が以前に比べ明るくなった」「でかける場所ができ、生きがいができた」「カフェは心からくつろげ、安心していられる場所」など好ましい効果が生まれている。（千種区）
- 地域住民とご本人が顔なじみとなり、気軽に会話できる関係となっている。（中川区）

< 家族への効果 >

- 本人が楽しまれている姿を見て、安心され前向きに変わられた。（熱田区）
- 「一緒に来られるところできてよかった。家ではほとんど会話しないがここではよく話できて楽しい」と言ってくさっている。（守山区）

なごや認知症カフェの開設・運営支援

■ 『なごや認知症カフェの在り方に関する調査研究』 結果から

< 地域住民への効果 >

- 地域の方が認知症の方を見守り、カフェへ一緒にみえる。
(北区)
- 認知症への知識を深めようと質問される方が増加。気軽に認知症のご本人への声掛けをされる方が増加した。(中川区)

< 運営スタッフへの効果 >

- 認知症の方はもちろん、地域の方とのふれあい、交流も含めとても貴重な時間を過ごさせてもらっている。(熱田区)
- 認知症の人や家族と会話することで、その人たちが求めている思いを聞くことができた。(守山区)
- 自分たちも地域の一員としての自覚が芽生え、参加者の笑顔や言葉がけからモチベーションが上がり、認知症ケアについても自ら学びたいというスタッフも増えてきた。(中川区)

認知症当事者ととともに

■ 西区では…

当事者キャラバン
メイトの活躍



本人による本人のための相談
会「おれんじドアも～やっこ
なごや」始動



当事者が認知症専門
部会委員に就任



課題と展望



課題と今後の取り組み

- **推進員活動の成果が見える化できていない。**
 - ⇒ 事例集を作成
- **各区において認知症当事者の声をきき、共に取り組んでいく必要がある。**
 - ⇒ 本人ミーティング等の実施、認知症カフェ等で本人の声をきく 等
- **地域を基盤とした関係者同士の横断的なつながりづくり**
 - ⇒ 事業の協働実施などを通じて、医療・介護・地域住民・商店など、枠を超えたつながりづくりをめざす
- **「なごや認知症カフェ」の運営支援**
 - ⇒ 認知症にやさしいまちづくりの拠点化をめざす
- **早期発見・早期対応の実現**
 - ⇒ 認知症初期集中支援チームとの連携
医師からスムーズにいきいき支援センターへつながる
仕組みづくり

今後の目標

～なごや認知症カフェを中心とした「地域支援体制づくり」～

1 なごや認知症カフェの3つの機能の強化

どこに相談
したらいい？



認知症って
なに？

より身近で
より安心を

① 情報

- ・ 認知症を正しく理解できる。
- ・ 正しく適切な情報が得られる。
- ・ 気軽に相談できる。



② 居場所

- ・ 本人の居場所、家族の交流の場になる。
- ・ 認知症への理解があり、安心して過ごせる。



③ つながり

- ・ 当事者やパートナー、信頼できる専門職に出会い、つながりができる。
- ・ 専門職等とのネットワークを強化できる。

設置目標
市内150拠点

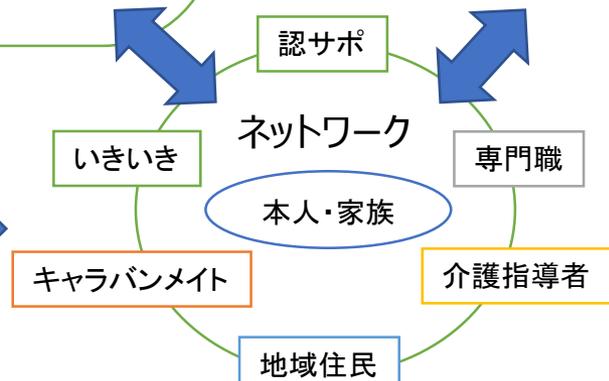


初期集中支援チーム



2 認サポ等の活躍の機会（人材確保）

- ・ 認知症サポーターの増、ステップアップ講座等の開催
- ・ キャラバンメイトの増、活動支援
- ・ 地域の介護指導者等の専門職との連携強化、活動支援



カフェ以外にも日常的なつながりへ

名古屋市での「早期診断・早期対応の支援体制づくり」を目指して

認知症の疑い

相談・受診

介護保険の申請等

① 認知症が正しく理解され、サポートが受けられる

民生委員等

高齢者の集まる場や事業等

地域のネットワーク
・認知症サポーター

地域の助けあい・支えあい活動等

スーパー・喫茶店等

ボラ・NPO活動等

② すぐに相談できる

いきいき支援センター

認知症カフェ

かかりつけ医

いきいき相談室
保健所・区役所

認知症コールセンター

③ 適切な診断が受けられる

大学病院・総合病院
精神科病院

安心安全
プロジェクト

認知症疾患
医療センター

歯科医師
薬剤師

認知症サポート医

初期集中支援チーム

④ 安心して参加できる居場所がある

認知症カフェ

⑤ 家族への支援がある

家族教室・家族サロン

認知症の人と家族の会

認知症デイ

生活環境を整え、
進行を予防できる

介護保険
サービス

⑥ 認知症の初期から包括的・集中的に支援が受けられる

⑦ 認知症の地域支援体制の構築

認知症地域支援推進員

認知症専門部会

認知症相談支援センター

さいごに・・・全国の推進員のみなさんへ

推進員活動を続けるうえで大切だと思うこと

- 一人で悩まずに、一緒に悩む仲間を見つけること
- 自分のやってきたこと・成果を見える化し、発信すること
- 認知症当事者と一緒に取り組むこと

お互い、それぞれの地域でがんばりましょう！

Facebookやってます！
ぜひご覧ください。



ご清聴ありがとうございました

